

平成 24 年 4 月社名変更(平成 20 年 6 月作成)

テバ製薬株式会社

研究開発本部

イミダプリル塩酸塩錠 10mg 「タイヨー」の加速試験結果

緒言

イミダプリル塩酸塩錠 10mg 「タイヨー」につき加速試験を行い、その安定性について検討したので報告する。

試験検体

イミダプリル塩酸塩錠 10mg 「タイヨー」	製造番号	LZKC1
		LZKC2
		LZKC3

保存条件，包装形態，測定時期及び測定項目

保存条件，包装形態，測定時期及び測定項目を次表に示す。

保存条件	包装形態	測定時期	測定項目
40±1℃ 75±5%RH	アルミ袋包装	0, 2, 4, 6 箇月	性状 純度試験 溶出性 定量
	アルミパックした PTP 包装		

試験結果及び考察

(1) 性状

結果を次表に示す。本品の性状は、いずれの包装形態においても、試験開始時と比較して 6 箇月後まで変化を認めなかった。

包装形態	箇月	性状 (規格：白色の片面 1/2 割線入りの素錠)
アルミ袋包装	0	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	2	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	4	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	6	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
アルミパックした PTP 包装	0	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	2	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	4	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった
	6	白色の片面 1/2 割線入りの素錠であった

(2) 純度試験

結果を次表に示す。本品の総類縁物質含量は、試験開始時と比較して6箇月後までほとんど変化を認めなかった。

検体	箇月	総類縁物質含量 (規格：1.0%以下)
		平均 ± S.D.
アルミ袋包装	0	0.46 ± 0.01
	6	0.51 ± 0.02
アルミパックした PTP包装	0	0.46 ± 0.01
	6	0.55 ± 0.04

(3) 溶出性

結果を次表に示す。本品の溶出率は、いずれの包装形態においても、試験開始時と比較して6箇月後までほとんど変化を認めなかった。

包装形態	箇月	溶出率 (規格：85%以上)
アルミ袋包装	0	97.2 ~ 103.0
	2	97.0 ~ 103.2
	4	96.9 ~ 102.3
	6	94.9 ~ 102.3
アルミパックした PTP包装	0	97.2 ~ 103.0
	2	96.3 ~ 103.3
	4	96.4 ~ 103.4
	6	98.4 ~ 104.3

(4) 定量

結果を次表に示す。本品の含有率は、いずれの包装形態においても、試験開始時と比較して6箇月後までほとんど変化を認めなかった。

包装形態	箇月	含有率 (規格：95.0～105.0%)		
		平均	±	S.D.
アルミ袋包装	0	99.2	±	1.1
	2	99.1	±	0.8
	4	98.4	±	1.0
	6	98.0	±	0.9
アルミパックした PTP 包装	0	99.2	±	1.1
	2	99.3	±	0.8
	4	98.2	±	0.9
	6	98.4	±	0.9

結論

イミダプリル塩酸塩錠 10mg「タイヨー」のアルミ袋包装及びアルミパックした PTP 包装につき、加速試験を行った結果、いずれの試験項目においても、試験開始時と比較して6箇月後までほとんど変化を認めなかった。これにより本品は通常条件下に保存した場合、一定の流通期間内でその品質はじゅうぶん保証されると判断した。